

## 《 アンケート結果からの考察 》

- 児童評価では、昨年度に比べ、全ての項目においてポイントが上回っており、生活と学習、どちらにおいても児童が一生懸命に取り組んできたことがうかがえます。特に、「⑬ 学校が楽しい」が3.74 と非常に高く、日頃から、「わかる・できるが実感できる授業を行うこと」「児童の良さが発揮される場を意図的につくること」「児童の心配事には丁寧に対応すること」を全教職員が心掛けた成果と捉えます。一方、低い評価をつけた児童がいることも真摯に受け止め、今後も、一人一人の良さが発揮できる場づくり、教育相談の充実を図っていきます。
- 保護者・教職員ともに「① 運動への取り組み」「② 規則正しい生活」が下がっています。原因の一つとしてコロナ禍での生活が続き、外遊びよりもゲーム等で遊ぶ時間が増えたことが考えられます。学校では体育の授業の充実をはじめ、外遊びの推奨、保健学習による生活の見直しを行っていきます。ご家庭との連携をとり進めていくようにします。
- 児童・保護者・教職員ともに「⑤ 家で読書に取り組む」は、他に比べやや低めの値となりました。今後も、定期的な読み聞かせや読書推進月間など本に親しむ機会を多くもち、本を読み、その世界にひたる楽しさを味わわせるようにします。
- 昨年度のアンケート結果を受け、今年度は学校だよりやHPを改善し、学校の様子がよく伝わるよう心がけました。その結果「⑳ 便り、連絡帳、HPによる学校の様子の伝達」についての評価が大きく伸びました。これを励みに、今後も取組を継続していきます。
- 「㉔ 学校で重視してほしい教育（保護者）、学校で重視したい教育（教職員）」にては、両者とも『心情を高める教育の充実』『言語活動の充実』『体験活動の充実』に高い値が示され、保護者からの期待と学校の伸ばしたいと考える視点が揃い、今後の教育の方向性や重点（力を入れて取り組む点）を明らかにすることができました。道徳科をはじめ、学校生活全てにおいて「心を育てる教育」を意識して取り組みます。また、研究教科である「国語科」を中心に言語に関する能力を育て、各教科における思考力、判断力、表現力の育成につながるようにしていきます。

### —— 学校評議員の皆様からのご意見 ——

- ・「学校が楽しい」と感じている子供が多くいることが大変喜ばしい。先生方の取り組みの成果と受け止める。しかし、学校からの説明にもあったように、「楽しい」と感じられない子への対応、相談をしっかりと行ってほしい。
- ・感染症対策の緩和から、学校でのマスクの扱い方を検討するようになるであろう。これまで子供たちは大人からの教えによりマスク着用を守ってきた。突然「外すこと」を強要すれば、これまで良いと信じて行ってきたことが否定されてしまうことにもなりかねない。マスクの扱い方については、子供の心に寄り添い無理のない方法で進めてほしい。
- ・年間を通じて幼稚園・保育園と交流をしているおかげで、入学後の躓きが少ないように感じる。
- ・「6年生を送る会」を参観し学年ごとの子供たちの堂々とした姿に感動するとともに、日頃から先生方のご指導が子供たちにとってとても豊かなものであることがしっかりとわかるものであった。
- ・楽しい・嬉しいと感じ、協力して一つのものを作り上げる。どの子供も同じような気持ちだから、一人一人が頑張っていて感動する会やものをつくれたのだろうと思った。